天文於其弟子安倍晴明、皆善精其術、吁近代何其無人哉、今若欲問時日、猶如與瞽者論日喩歟、今姑以不避陰陽拘忌者枚擧之、夫往亡之日、兵家之所忌、宋武帝曰、我往彼亡、吉孰大焉、遂平慕容氏、甲子者紂所亡、兵家忌之、後魏武帝曰、紂以甲子亡、武王以甲子勝、遂破賀驎、鄧禹以六甲窮日理兵、以敗劉均、劉裕不避折竿沈幡之凶兆、以擊盧循而走之、皆是太公折蓍毀龜之遺意也耶、沈顔曰、古者國家將有事乎戎祀、必先擇時日、以定其期、是用備物於有司、習儀於禮寺、俾臻其虞而戒其誠、非所以定吉凶決勝負也、後之惑者不詳其故、推考時日拘忌益深、且吉凶由人、焉繫時日、然惑者不知其在人也、○中略

嗚呼時日用捨、存於其人矣、○中略

元和五年孟秋二十五日

〔安齋隨筆前編十三〕一吉日凶日　日に吉凶ハなき事也、吉日にも惡事をすれバ刑罰免れがたし、凶日にも善事を行へバ褒賞せらる、吉凶ハ己が身より招くもの也、又婚姻の願など、主君に申上るに、主君より願の如く申付らるゝに、凶日に云渡さるゝ事、其日凶日也とて、申渡をうけまじきとて、辭する事はならざる也、是にて考べし、曆に日の吉凶を記すハ、吉凶もなき日に、強て吉凶を付たる也、吉凶に拘る事勿れ、予が相知りたる人の所にて、小兒病ありしに、今日は朔日なれば、藥を呑しむる事イマハシとて、醫師を招かざりしに、病急になりて、其日に小兒死しけり、早ク療治せバ、死すまじきものを、物イマイして、却て如此の不幸にあへり、

〔月令廣義二十三〕陰陽○略中

黃道吉日○○○正七月子上起、二八月寅上起、三九月辰上起、四十月午上起、五十一月申上起、六十二月成上起、訣云、道遠幾時通達□□何日還鄉、只此順遁去有差遲爲黃道、餘爲黑道、

〔宿曜經上序日名善惡品〕凡七日、二十二日、名爲朋友日、○北斗天下宜結交慶喜安定和樂、王者初服、及造旌旗帷帳並吉、唯不宜遠行、

〔春記〕長曆三年十二月九日乙丑、祭主事有可早定申之仰事、而日次連々不宜、十七日廿日是吉日也、